

平成29年7月1日

全日本音楽教育研究会中学校部会支部長 様

全日本音楽教育研究会中学校部会  
部会長 風見 章  
調査研究部長 志村 誠一郎

平成29年度全日本音楽教育研究会中学校部会調査研究について（依頼）

初夏の候、全国各支部長の皆様方には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、昨年度は各支部より「中学校音楽科におけるアクティブラーニングの実践」事例のご提供につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、全日本音楽教育研究会中学校部会調査研究部では、これまでに「鑑賞」指導の現状についてや現行学習指導要領の実施状況について調査・研究を実施し、冊子にまとめ発行してきました。また、昨年は新学習指導要領に謳われた「アクティブラーニング」に視点をあて、全国各支部から収集した学習指導案を調査しました。

そこで、本年度は下記の通り引き続き調査研究を実施いたしますので、各支部長の皆様方に於かれましては、管下の各中学校の優れた実践事例をご提供いただきたくお願い申し上げます。

## 記

### 1 調査の主題

「現行指導要領における音楽科の全体計画・教育課程」

### 2 調査の目的

平成29年3月に新学習指導要領が告示され、7月には、指導要領解説が出されました。この改定では中学校教育を通じて育成すべき資質・能力の3つの柱「何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）」「知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）」「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）」に沿って明確化し、創造的に表現したり鑑賞したりする力の育成、生活や社会における音楽の働きや音楽文化に関する学習活動の充実を図り、豊かな情操を養うことが求められるようになります。

更に、改訂の方向性として「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」が取り上げられています。昨年の調査では「どのように学ぶか」に視点をあて調査しました。

今年度は「何ができるようになるか」に視点をあて、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目的を共有し、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」各学校における「カリキュラム・マネジメント」についての調査を行います。

新学習指導要領の完全実施までの4年間で、その改定趣旨を踏まえ、現行学習指導要領による授業展開の充実・改革及び早期導入が必要と考えます。

そこで本調査は、全国音楽科の先生方より特徴的な「現行指導要領における音楽科の

全体計画・教育課程」をご提出いただき、次期改訂のカリキュラム・マネジメントに向けての資料とすることを目的として実施いたします。

### 3 提出いただく調査内容

現行指導要領における音楽科の全体計画・教育課程  
(年間指導計画・単元の指導計画等の具体的な資料)

### 4 調査の実施期間

平成29年7月10日(月)から平成29年8月14日(月) 必着

### 5 資料提出先

横浜市立日吉台西中学校  
校長 調査研究部長 志村 誠一郎  
〒223-0062  
横浜市港北区日吉本町5丁目44番1号  
電子メール se02-shimura@city.yokohama.jp

### 6 留意事項

- (1) 全体計画・教育課程は、書式枚数等は任意とします。
- (2) 作成者の所属、氏名は、必ず明記してください。
- (3) 作成者から資料の加除訂正並びに調査研究報告書冊子、全日中音ホームページへの転載許諾を必ず得てください。
- (4) ○郵送等の場合は、電子データ(PDFデータは不可)を必ず添付してください。  
USBメモリー又はCD・R等に記録し、紙媒体とともに送付してください。  
○電子メールで送付する場合は、5のアドレスへ送付(PDFデータは不可)し、紙媒体での提出は不要です。  
※メールの添付ファイルの容量が大きいと、横浜市のシステムでは受信できない場合がありますので、できるだけ郵送でお願いできればと思います。
- (5) 原則として各支部から1事例以上の資料のご提出をお願い致します。

### 7 その他 本年度の調査研究部 役員は次の5名が担当します。

部長	志村 誠一郎	校長	神奈川県	横浜市立日吉台西中学校
副部長	角 康 宏	校長	東京都	葛飾区立青戸中学校
副部長	増田 昌 久	副校長	東京都	葛飾区立堀切中学校
副部長	村上 雅 基	副校長	神奈川県	横浜市立野庭中学校
副部長	澁谷 恭 子	指導教諭	東京都	狛江市立狛江第三中学校